

令和4年10月17日

所属団体長 殿

富山市剣道連盟
会長 伊勢 博行

富山県剣道連盟創立70周年記念 第70回富山県剣道大会の開催について (団体試合・個人試合)

富山県剣道連盟より、みだしの大会を「富山県剣道連盟創立70周年記念」として実施する旨の案内がありましたのでお知らせします。

なお、今回の大会は、富山市を会場として実施されることから、各団体には、後日、団体戦への出場選手をはじめ、係役員等、種々の依頼をしますので、ご協力よろしく申し上げます。

記

1 趣旨

(一財)富山県剣道連盟に加盟する団体の会員で構成するチームで、団体試合の部・個人試合の部を開催し、お互いの技を競い合い、その技能向上に努め、剣道の普及発展を図る。

2 期日

令和4年12月4日(日) 受付開始 午前8時15分
審判会議 午前9時00分
開会式 午前9時30分 ※受付は加盟団体ごと行うこと。

3 会場

富山市総合体育館 〒930-0805 富山市湊入船町12番1号

4 参加資格

(1) 団体試合

ア 各加盟団体の会員で高校卒業(同年齢)以上の者

イ 警察官については、機動隊剣道部以外の警察官とし、各地区加盟団体所属とする。

(2) 個人試合

各加盟団体の会員で高校卒業(同年齢)以上の者とする。

5 試合の構成員について

(1) 試合は、①団体試合の部 ②個人試合の部の順におこなう

(2) 団体試合の部

① 男子団体戦

ア 各加盟団体、最大2チームまで認める。

イ チームの構成は、監督1名、選手5名、補員0～4名の計10名までとする。

ウ 先鋒・次鋒は、フリー(年齢、段位不問)、中堅は、30歳以上かつ三段以上、副将は、40歳以上かつ四段以上、大将50歳以上かつ六段以上とする。

なお、年齢基準は令和4年12月1日とする。(令和4年12月1日以前にそれぞれ30歳・40歳・50歳になった者であること)。

エ 選手が3名ないし4名の場合は、先鋒、中堅、大将には必ず選手を配置すること。ただし、ウの条件を満たしていること。

オ 補員との入れ替えは自由とし、交代した選手が再度出場してもよい。

ただし、ウの条件を満たしていること。

カ 試合前(該当団体戦の整列前)に各チーム監督から、試合場主任へオーダー表を提出すること。

②女子団体戦

ア 各加盟団体、最大5チームまで認める。

イ チームの構成は、監督1名、選手3名、補員0～2名の計6名までで、選手・補員は女子とする。

ウ 年齢及び段位制限は設けないが先鋒を低段位者とし、順次大将の高段位者にいたるものとする。

エ 補員との入れ替えは自由とし、交代した選手が再度出場してもよい。

オ 試合前（該当団体戦の整列前）に各チーム監督から試合場主任へオーダー表を提出すること。

(3) 個人試合の部

ア 第1部七段の部

イ 第2部六段の部

ウ 第3部五段の部

エ 第4部四段の部

オ 第5部三段以下の部

6 試合方法

(1) 団体、個人試合ともトーナメント方式による。

(2) 団体戦は、点取り法とする。

7 試合及び審判について

(1) 「全日本剣道連盟剣道試合・審判規則・同細則」および全日本剣道連盟の「主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン（新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判方法）」に記載の試合方法による。

(2) 試合時間等

ア 団体試合の部

○試合は、男子団体戦、女子団体戦ともに4分間3本勝負とし、勝敗の決しないときは引き分けとする。

勝者数、取得本数とも同数のときは、男子が一番早い試合順で引き分けた試合者で代表決定戦を行う。女子は監督が選出した任意の選手で代表決定戦を行う。

○男子の代表決定戦は、4分間1本勝負とし、勝敗の決しないときは引き分けとし、引き分けの場合は、次に早い試合順で引き分けた試合者で、再度、代表決定戦を行う。

次に早い試合順で引き分けた者がいない場合は、現在の代表者が3分間の延長戦を、3回で1回3分の休憩を取り、勝敗の決するまで継続する。

○女子の代表決定戦は、4分間1本勝負とし、勝敗の決しないときは、3分間の延長戦を3回で1回3分の休憩を取り勝敗の決するまで継続する。

イ 個人試合の部

○4分間3本勝負とし、勝敗の決しないときは、3分間の延長戦を3回で1回3分の休憩を取り勝敗の決するまで継続する。

8 表彰

団体の部第1位・第2位を表彰する。

個人の部第1位・第2位・第3位・第3位を表彰する。

9 申込期日等

令和4年11月4日（金）までに、別紙申込用紙により富山市剣道連盟へ申し込む。

紙媒体の場合 山内武道具店内富山市剣道連盟

メールの場合 富山市剣道連盟メール連絡アドレス org@tymcity-kendo.com

※締切は、開催地機であることと、団体戦出場選手の選考の関係から、他地区連盟より早まっています。

10 抽選組合せ

事務局において、抽選により決定する。

11 安全対策

大会開催中に事故等が発生した場合は、応急処置はしますが、その後については、各自で処置をお願いします。

12 新型コロナウイルス感染症予防対策

「主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン（全日本剣道連盟）」、「大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン（富山県剣道連盟）」に準ずる。その他、会場（富山市総合体育館）の施設利用要件を順守する。

- 選手、役員、審判員、係員は、当日体調チェックシートを提出し、検温を行う。
- 観覧者は検温及び手指消毒を行ってから入場すること。
- 受付時の検温37.5℃以上ある場合や、チェックシートの内容に問題がある場合は入場を認めない。
- 全日本剣道連盟の感染拡大予防ガイドラインに則り、選手に面マスク（口と鼻を覆うもの）及びシールド（シールドは口元を覆うものとし、形状の指定はしない）の着用を義務づける。
- 選手、役員、審判員、係員、観覧者は、待機中も含め常時マスクを着用する。
- 試合会場へ入場する選手は可能な限り少人数とし、観覧席にて着替え及び荷物を置く。
観覧者は観覧席から観戦し、アリーナへの立ち入りは禁止する。また、ソーシャル・ディスタンスを保ち、応援は拍手のみ、声援は控える。なお、女子の着替えは女子更衣室とする。
- 審判旗をはじめ、運営上の必要物品はできるだけ共用しない。やむを得ない場合は使用者が変わるごと（あるいは使用ごと）に必ず消毒をする。
- 目印（紅白たすき）は各加盟団体に用意すること。
- 更衣室、待機スペースでは密にならないよう各自留意する。
- 各試合場や出入口に手指消毒用アルコールを置く。
- ゴミは各自持ち帰る。まとめたり、設置されたゴミ箱に捨てたりしない。

13 その他

- 日本剣道形演武は行わない。
- 審判員は（一財）富山県剣道連盟公認審判員とする。
- 審判の入退場は全剣連のガイドラインによる。
- 各加盟団体は、下記様式によるチームのオーダー表を作成し大会当日受付に提出する。
- 前年度の入賞者は、授与された杯を当日持参し返還すること。

様式

用紙サイズ：模造紙4分の1

男子団体戦

女子団体戦

団体名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○

団体名	先鋒	中堅	大将
○	○	○	○
○	○	○	○

以上